

9月27日(火)、本会の塩田会長が東北地方整備局を訪れ、川瀧道路部長並びに津田港湾空港部長をはじめ担当官と面談し、「高速道路ネットワークの早期整備促進についての要望書」及び「秋田港の日本海側拠点港への選定と整備促進についての要望書」を手渡しました。

要望書の概要は以下のとおりです。



【要望書を手渡す塩田会長(右)と川瀧部長(左)】

○「高速道路ネットワークの早期整備促進について」

- (1)日本海側を含む東北地方の高規格幹線道路網の整備については、東日本大震災からの復興、日本海側道路網のリダンダンシー強化の観点から、特に予算を重点配分し、整備を促進すること
- (2)未開通となっている「日本海沿岸東北自動車道(遊佐～象潟間・二ツ井白神～あきた北空港間)」及び「東北中央自動車道(新庄北～雄勝まち間)」については、ミッシングリンク解消へ向け、社会資本整備審議会で整備手法を明確にするとともに、早期に事業化を図ること
- (3)現在事業中の「日本海沿岸東北自動車道(大館北～小坂間・大館西道路・鷹巣大館道路・仁賀保本荘道路・象潟仁賀保道路)」及び「東北中央自動車道(院内道路)」については、東北全体の復興へ向けた縦軸、横軸の物流ルート確保の観点からも、整備のスピードを前倒しし、早期完成を図ること
- (4)間隔の離れているインターチェンジ間には新たなインターチェンジを設置するなど、一般道路との連携強化を図ること
- (5)片側一車線で暫定開通している区間について、二車線化を促進すること

○「秋田港の日本海側拠点港への選定と整備促進について」

- (1)環日本海地域の国際物流拠点として「日本海側拠点港」への選定と整備促進を図ること
- (2)港内の静穏度確保に向けた防波堤の延伸及び飯島埠頭の地域防災拠点としての整備促進を図ること

【今月のキーワード】『「リダンダンシー」・「ミッシングリンク」とは?』(国土交通省ホームページより)

リダンダンシー (redundancy)…「冗長性」、「余剰」を意味し、自然災害などによる障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な状況を示します。

ミッシングリンク (missing link)…幹線道路などの交通ネットワークの欠落区間のことで、秋田県では、日本海沿岸東北自動車道の象潟～山形県遊佐間等の未開通区間が該当します。

中小企業組合等支援施策情報

■電力需給対策高度化事業のご案内

独立行政法人中小企業基盤整備機構では、都道府県と協調して組合の施設・設備事業に対する長期・低利の貸付け(高度化事業)を実施していますが、この度、当面の重要課題である電力需給対策として、以下のとおり、同事業の拡充を行いました。是非ご活用下さい。

1 貸付制度のポイント

- (1)貸付対象事業費：省エネ・新エネ・自家発電等の設備導入に要する費用
- (2)貸付期間：20年以内(据置期間5年以内)
- (3)資金負担・事業者負担額：貸付対象事業費の1%又は10万円のいずれか低い額
・都道府県負担額：貸付対象事業費の1%又は100万円のいずれか低い額
- (4)貸付金利：1.05%(平成23年度の場合)(※貸付期間中は固定金利)
- (5)措置期間：平成26年3月末までに貸付決定を行ったもの

2 対象者：事業協同組合及びその組合員等(今後設立予定の場合でも可能です)

3 対象事業：省エネ・新エネ・自家発電等の設備を導入する事業

(例)省エネ・新エネ等の設備の一例 省エネ型製造機械、太陽光発電設備、ディーゼル発電機等

○当制度の詳細に関しましては、下記までご相談・お問い合わせ下さい。

独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北支部 地域経済活性化推進部 地域振興課 ☎022-399-9058